



令和 7 年度 第 2 回 地域意見交換会

日 時	令和 7 年 12 月 19 日（金） 14：00～16：50		
会 場	松戸商工会議所（5 階大会議室）		
参加対象	松戸、流山圏域内、圏域外の関係機関 及び関係企業	参加人数	参加者：50 事業所 58 名 ビック・ハート松戸職員 9 名 合計 67 名
主 催	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸		
内 容	<p>① 講座：『変化に気づき、支援につなげる～支援から考えるアセスメントの工夫～』 千葉障害者職業センター 西山 充洋様</p> <p>② グループワーク：テーマ『事例A：感情コントロールと職場適応』または『事例B：加齢による変化への対応』いずれか検討する 全11グループ（1 グループ 6 名程度）</p>		
当日の様子	<p>千葉県障害者職業センターの上席障害者職業カウンセラーである西山様より、「変化に気づき、支援につなげる～支援から考えるアセスメントの工夫～」をテーマにご講義をいただきました。講義では、障害者の就職支援および職場定着支援におけるポイントとして、アセスメントの重要性や具体的な工夫について学びました。特に、人の認知処理や行動過程を図解しながら整理する方法や、支援に活かすためのアセスメントのコツについて理解を深めることができました。また、人の認知や行動と障害特性との関係を考える視点として、知的障害および高次脳機能障害の紹介があり、支援を検討する上での重要な示唆を得ることができました。</p> <p>グループワークでは、「事例 A：感情コントロールと職場適応」または「事例 B：加齢による変化への対応」のいずれか一つを選択し、ディスカッションを行いました。</p> <p>事例 A では、感情コントロールの難しさが職場適応に与える影響について検討しました。支援としては、感情の変化に早く気づくための定期的な声かけや、安心して業務に取り組めるよう業務量や作業環境の調整が有効であるなどの意見が挙げられました。</p> <p>事例 B では、加齢に伴う理解力や作業スピードの変化を踏まえ、業務内容や作業手順の見直し、負担の少ない業務への変更・配置転換などの対応が必要であるなどの意見が挙げられました。</p> <p>ご参加いただいた方からは「高次脳については、あまり知見がなかったので勉強になった」「加齢など、教育現場ではあまり意識しないテーマばかりで新鮮だった」「アセスメントについて、とてもわかりやすく説明していただき、大変勉強になりました」「企業、学校、支援機関と色々な立場の視点での意見を伺う事が出来、参考になりました」「人によって考え方やアプローチ方法が違うため勉強になりました」といった深い意見も見られました。</p> <p>ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。次回もぜひご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		